

なぞ解き 「宙船（仮称 そらふね）」を復元する

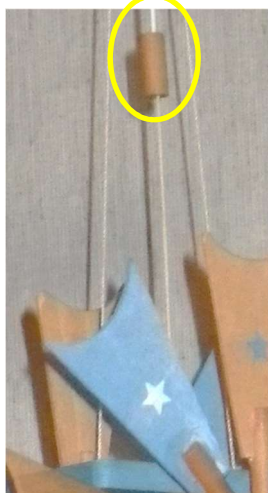
ゆきや

なんとも不思議なものが来ました。
全体は薄いベニヤ板製で、大きな風車（プロペラ）を上には載せ、
吊り下がっているのは流れ星をかたどったような形の船（?）。
黄色い帽子をかぶった、少年らしき人が搭乗しています。
風車の力で星の世界を旅するのでしょうか？
彩色もパステルカラーで、メルヘン風です。
ネットで調べても類似品もないので、
仕方なく「宙船 そらふね」と仮称しました。

殆ど擦り切れたタコ糸が何本か絡みつき、
糸のちぎれた大きな水色のボールが1個付いていました。
持って来られた方も、詳しくは説明できません。
要は「ボールを引っ張ると回った」と。
どうやら風車が回るモビールのようです。
ただどうすれば風車が回るのかは分かりませんでした。

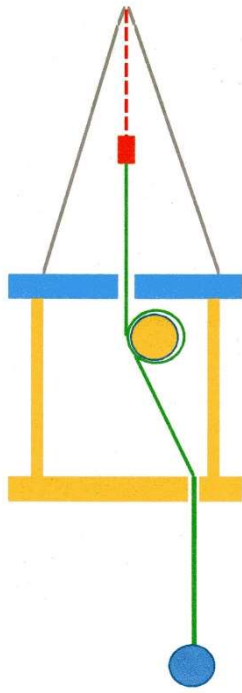


とりあえず、風車の羽が5枚ほど折れていたの
で、裏から補強しつつ、接着しました。
また1枚は根元が全くなかったの
で、2ミリ厚のベニヤで復元し、
似た色で塗装しました。
補強材の重さが加わったため、
風車の円としてのバランスが崩
れていますが、とりあえず無視
して先に進みます。



風車の屋根から出ているタコ糸は、
中間点にヒートンも付いていたの
で、全体を吊り下げるものと考え
られます。（写真の左右の糸）
ただ中央の1本の糸（第3の糸）
の役割が分かりません。
しかも長さ2センチほどの円柱
が付いています。（黄色円）
風車の屋根板の中央には、直径
5ミリほどの穴が開いていて、
第3の糸に位置的に対応しま
すが、円柱は太くてその穴は通
りません。
船の底板の後の方にも、同様の
穴があります。

ボールはオモリで、下の穴から
吊り下がっていたのでしょ
う。
風車の軸はロクロ状になっていま
すから、ボールを吊ったタコ糸
が、ロクロを回して、風車を回
す、ここまでは推測できるの
ですが、動力が分かりません。



ボールは 1 個、底板の穴も一つです。

2 個あれば、互いに上下することで、動かせたかも知れませんが、そうはなっていません。

いずれにせよボールを吊ったタコ糸が、下から船に入り、上に伸びてロクロに巻き付き、屋根の穴から出て、円柱（褐色）の所で結ばれる、という構図は描けました。（図は、構造だけを描いたものです。）が、問題は動力です。まだ分かりません。

ボールにタコ糸（緑色）を付け、図の様に、上部の円柱の所まで伸ばしてみました。

円柱にタコ糸を差し込もうとしていた時に、やっと気付きました。中央の第 3 の糸（赤点線）は、くたびれてタコ糸のように見えていましたが、実はゴム紐だったのです。

円柱の中にわずかに残った断片に、弾力がありました。

これでわかりました。上部の第 3 の糸はゴム紐で、これが動力源だったのです。

ボールを引っ張ると、糸が風車を回して、ゴム紐を伸ばします。

円柱は、ゴム紐が限度以上に伸びないようにするストッパーだったのです。

手を離すと、ゴム紐は縮み、風車が逆方向に回り、ボールも上昇します。

分かってみると、いささか あっけなく、遊び始めると、ボールの上下と風車が連動して、まことに楽しい「宙船」でした。

